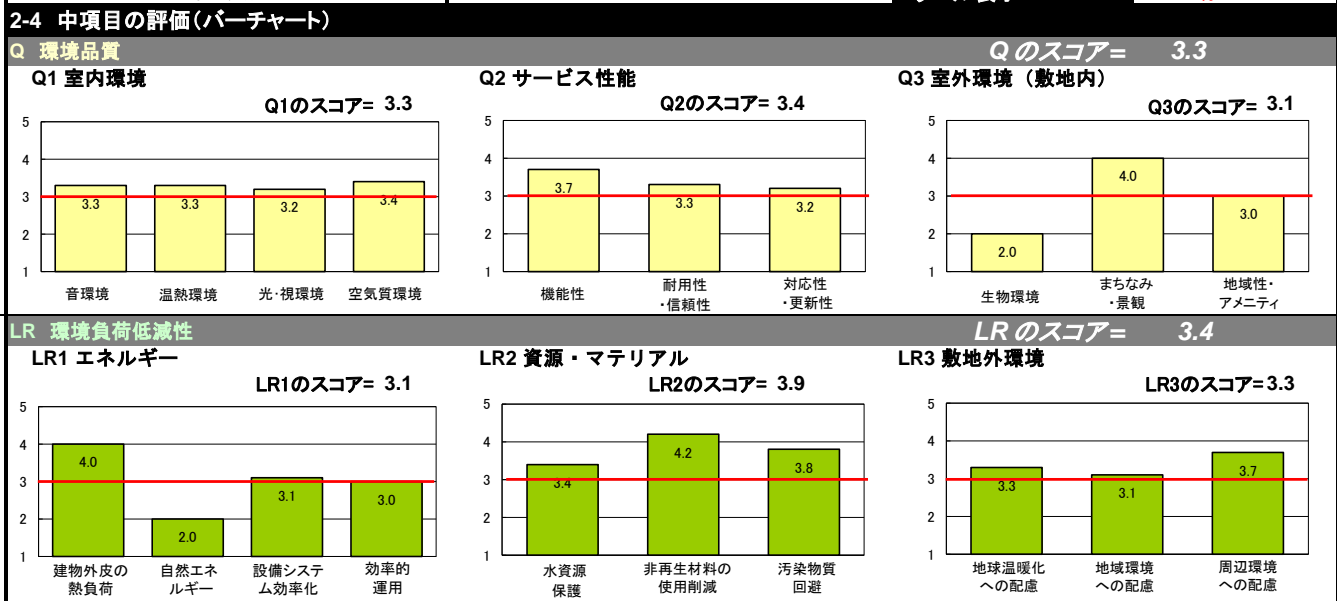
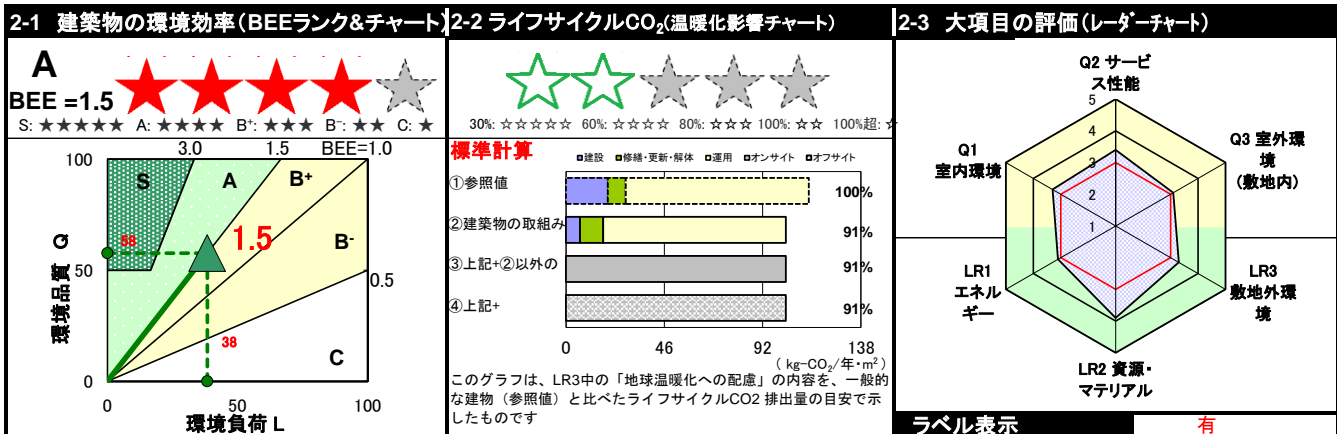


CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)港区弁天4丁目集合住宅 新築工事		
建設地	港区弁天4丁目		
建築用途	共同住宅(分譲)		
建築主	京阪電鉄不動産(株)、(株)阪神住建		
設計者	(株)IAO竹田設計		
敷地面積	2,084.14	m ²	
建築面積	1,039.35	m ²	
延床面積	21,735.53	m ²	
構造/階数	RC造 / 地上29階、地下1階		
完了年(予定)	2023年3月		



3 設計上の配慮事項

総合	その他
本計画地は四周が道路に面しており、どの面から見ても街並みと調和した景観となるように留意した。又、快適な居住性と安全性を実現すべく、温熱環境や音環境に配慮した計画とともに免震構造や非常発電機を計画することにより災害時等にも配慮した計画としている。	特になし
Q1 室内環境 住宅性能評価における断熱等級4等級として計画をすため、屋外からの熱的影響を抑制する。また全体的にF☆☆☆☆建材を使用することで、空気環境の向上を図る。	Q3 室外環境 (敷地内) 大きな幅員の歩道に面する南側を除き、西北東側は狭い歩道又は歩道がない道路に面している。ヒューマンスケールでの建物の圧迫感を軽減するために西北東側に対しては敷地境界から建物までできる限りの空地を設けた。また、
LR1 エネルギー 省エネ等級4を取得することにより、熱損失及び建物外皮の熱負荷抑制に配慮した建物としている。	LR3 敷地外環境 地域気象観測データから敷地周辺の風環境を把握し、配置・動線計画に反映させている。適切な量の駐車スペースの確保や駐車場の導入路に配慮する等、交通負荷の抑制を図っている。
Q2 サービス性能 高度情報通信に対応した建物とした。又、免震構造の採用や自家発電機設備(保安24時間分の容量を確保)を設置し、災害時への強靱性を高めた計画とした。	
LR2 資源・マテリアル リサイクル材を積極的に採用し、地球環境に配慮した建物としている。又、有害物質を含まない材料を使用することにより、化学物質の使用低減を行っている。	

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.3 省エネルギーからCO2排出量低減を図る。
配慮事項	特に無し。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内には十分な植栽を計画するだけでなく、有効な風を導くよう建物を配置する計画とすることで敷地内の温熱環境悪化を抑制する。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0 住宅性能評価4等級を取得
配慮事項	節水型器具を採用し、水資源保護に努める。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.1 高効率給湯器の採用
配慮事項	高効率給湯器を採用して、エネルギー消費量低減をはかる。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.99	住宅部分[BEI] 0.99	非住宅部分[BEI][BEIm] -

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート (太陽熱利用設備用)

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ (95) m <input type="checkbox"/> 地上部 (<input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 ()
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 方位 (南東) 高さ(約 200) m 水平距離(約 105) m 方位 (南東) 高さ(約 200) m 水平距離(約 190) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m
ウ 日照の確保 (冬至)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 熱需要の条件等の検討	
ア 建築物の用途	共同住宅 (分譲)
イ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
ウ 設置可能面積	(12.0) m ²
エ 概算年間熱利用量	(26,124) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (例: 設備用基礎の設置) ()
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input checked="" type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他 ()	
2 導入する設備の概要	
ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
備考	